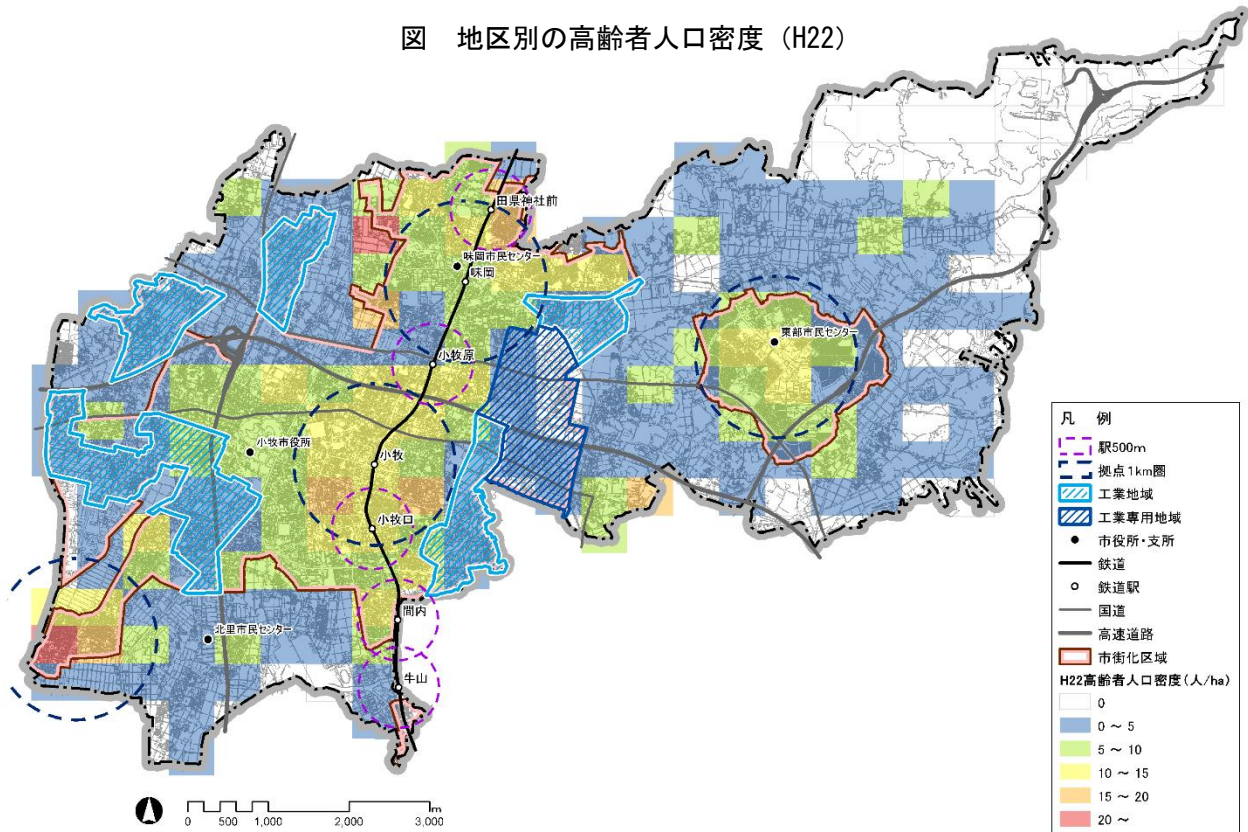


⑨地区別の高齢者人口の見通し

地区別の高齢化の進展について平成 52 年の高齢者人口密度をみると、市街化区域を中心に高齢者人口密度の上昇がみられ、特に、小牧駅や味岡駅周辺、小牧山北側の間々地区、桃花台ニュータウン等で高齢者人口密度の上昇が大きくなっています。

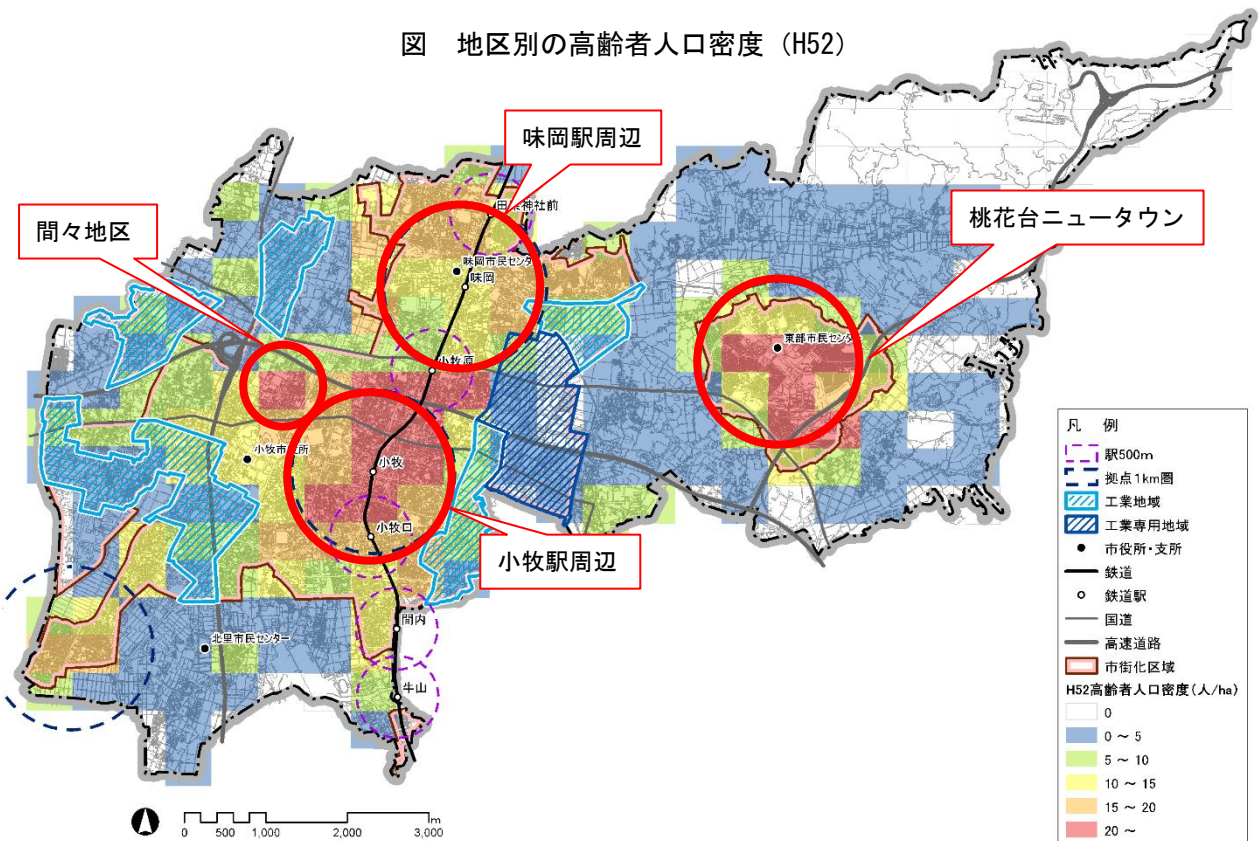
また、平成 52 年の高齢化率を地区別にみると、おおむね全ての地域で高齢化率の上昇がみられ、特に市街化区域では、30%から 40%となる地域が多く、市街化調整区域では、北里市民センター周辺や市域東部の野口・大山地区等で高齢化率が 40%以上となることが見込まれます。

図 地区別の高齢者人口密度（H22）



(資料：国勢調査)

図 地区別の高齢者人口密度（H52）



※コーホート要因法（社会移動あり）により独自推計

図 地区別の高齢化率（H22）

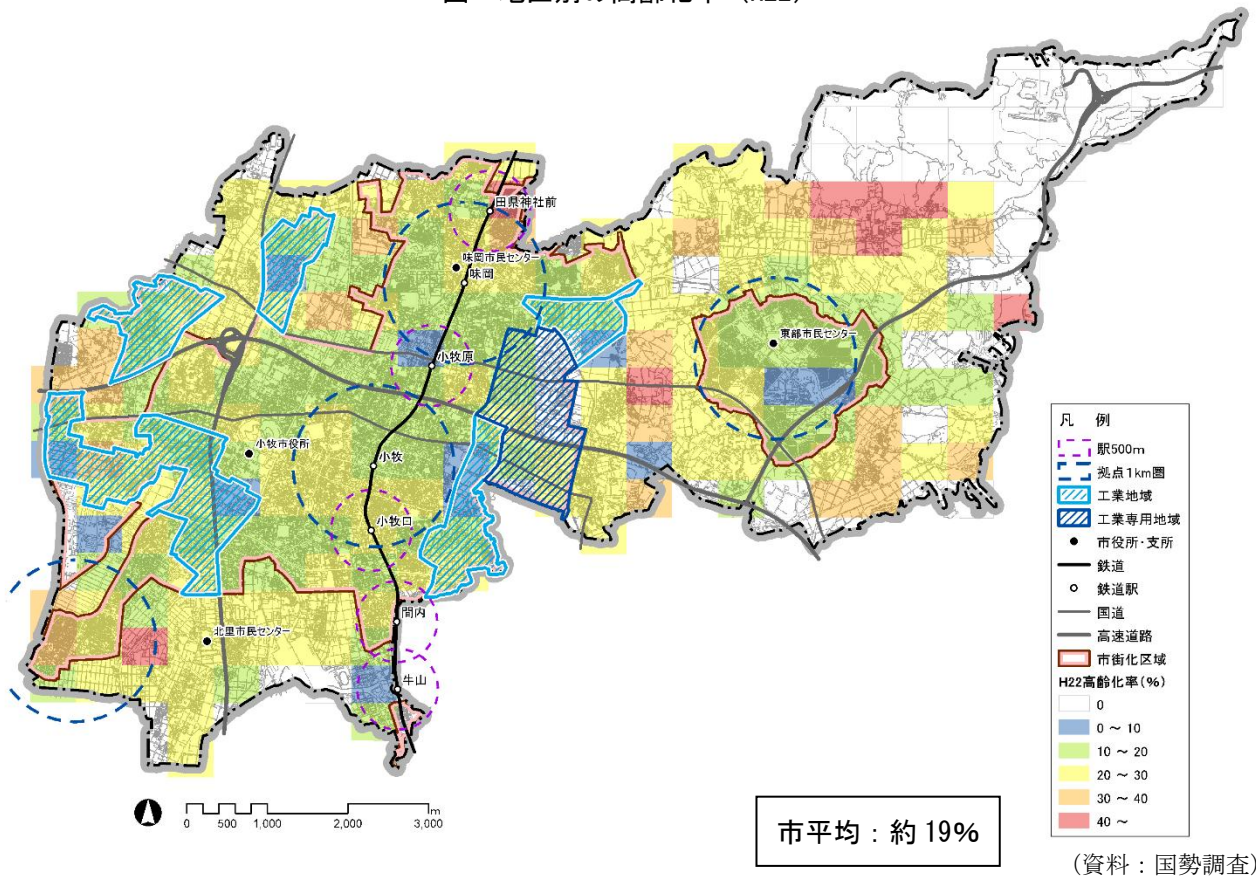
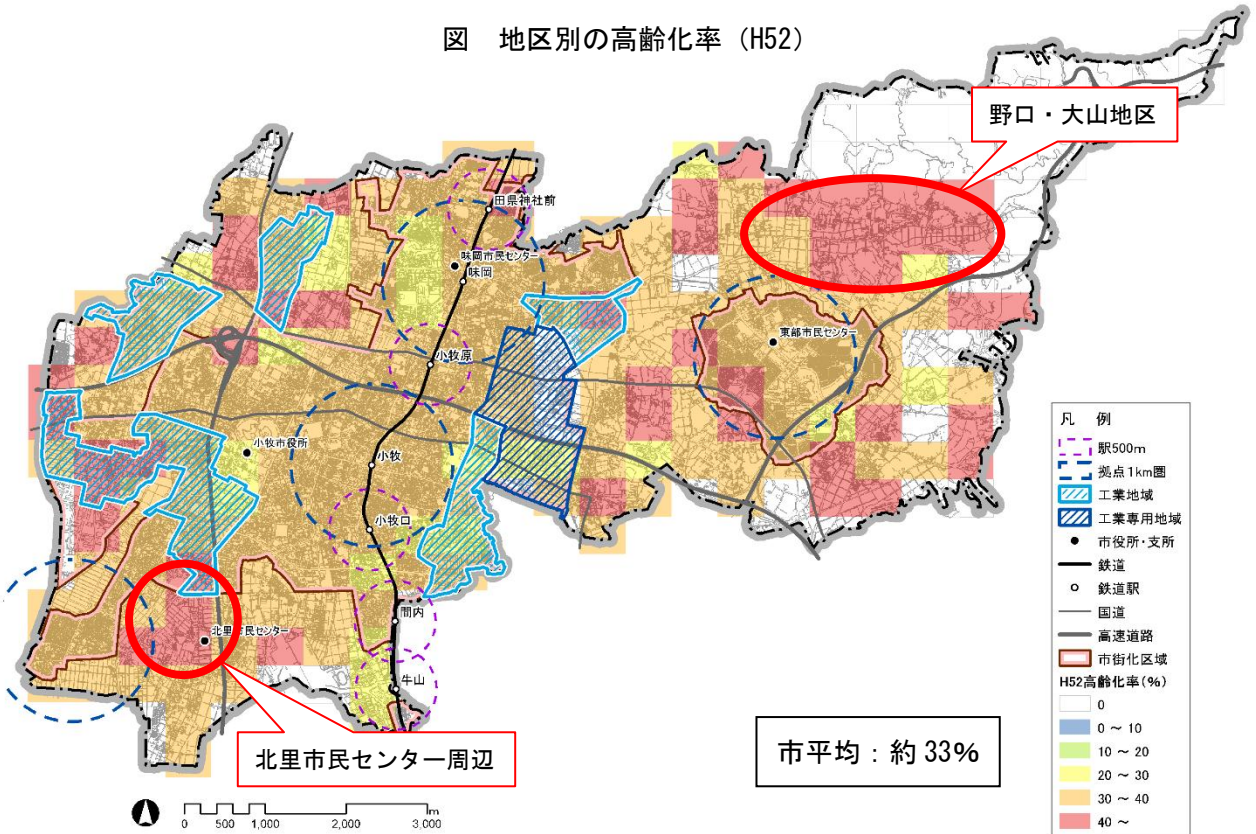


図 地区別の高齢化率（H52）



※コーホート要因法（社会移動あり）により独自推計

3. 主要集客施設の立地状況

(1) 主要集客施設の立地状況

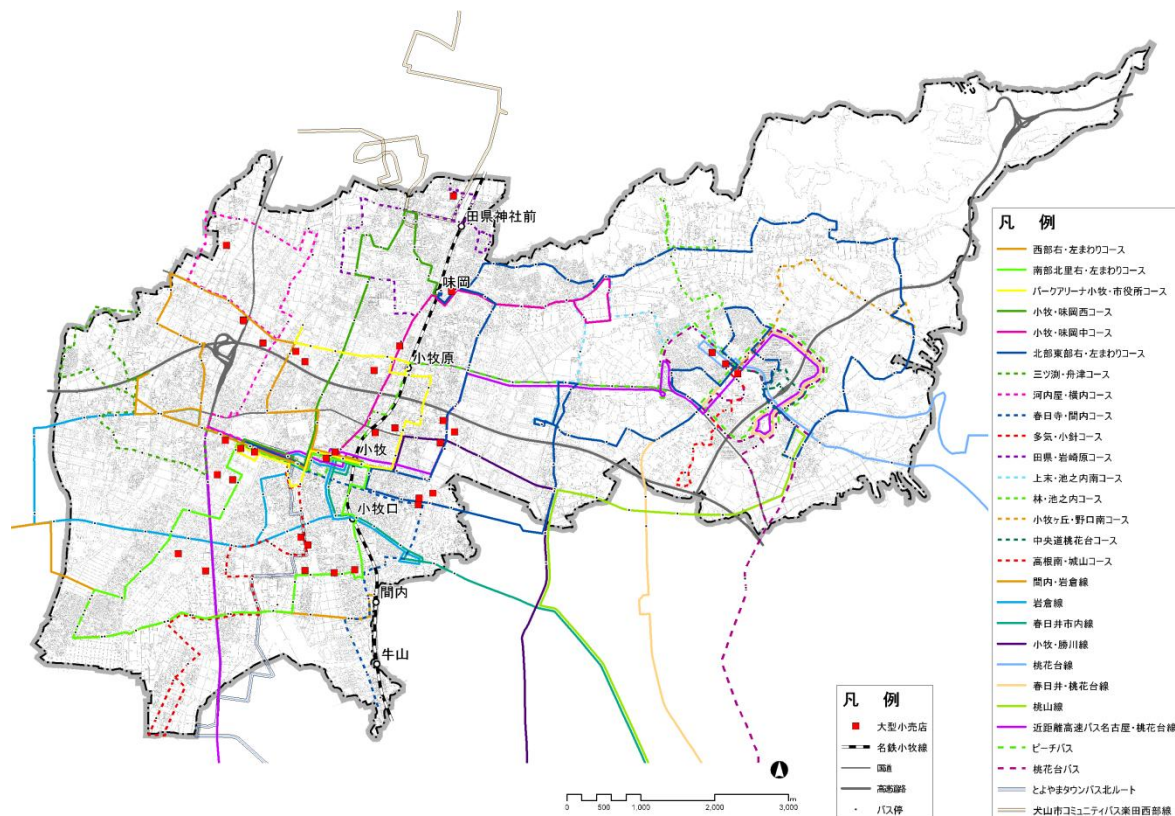
ここでは、公共交通の利用需要に影響する主要な集客施設の立地状況と公共交通網の関係を整理します。

公共交通の利用需要については、主な利用目的として通勤利用、通学利用、買物利用、通院利用、業務利用、娯楽利用、観光利用等が挙げられます。この主な利用目的の目的地となる集客施設として大型小売店※（通勤・買物利用）、学校（通学利用）、医療施設（通院利用）、公共施設（業務・娯楽利用）、文化施設（娯楽利用）についてまとめます。

本市の主要集客施設は概ね鉄道やバス路線の沿線に立地しています。しかし、自動車でのアクセス利便性を考慮し、国道や県道沿い等に立地した施設の中には、駅やバス停から離れている施設も存在しており、アクセス利便性の向上が課題です。

※大型小売店は店舗面積 1000 ㎡超の小売店

図 大型小売店の立地と公共交通網



(資料：国土数値情報（平成 28 年 10 月現在）、(株) 東洋経済新報社「大型小売店データ 2015 年度版」)